

重症児者デイサービス モアナ 放課後等デイサービス 支援プログラム

更新日

2026年6月6日

法人（事業所）理念		どんな重い障がいがあっても生まれ育った地域で暮らす	
支援方針		元気・勇気・陽気をモットーに、「自分でやってみたい」という思いを支えます	
営業時間		放課後利用日 学校休業日	下校 時 ~ 17 時 16 時 送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア＝自宅でご家族が日常的に行う医療的生活援助行為（人工呼吸器管理・酸素療法・吸引・経管栄養・排尿管管理・痙攣時対応・緊急時対応・口腔内ケア） ・看護師による日常の健康状態のチェック ・経口摂取の児は食事の楽しさ、安全に嚥下を行えるような環境整備などの支援 ・放課後の疲労や体調に合わせ、休息の環境を整える ・安全な入浴の機会の提供 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士などによる、過ごしやすい姿勢の工夫で快適に過ごせる支援 ・五感を刺激する経験が積めるような遊びや制作活動の提供 ・体の緊張をほぐすような体操やマッサージの実施 ・日常的に体操やダンスを実施し体を楽しく動かす ・個々に合わせた自助具の工夫 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせる場所だと認識できるよう、そばにいてほしい気持ちに最大限寄り添う ・制作活動では、手先指先を使うことによる感覚の認知、色や形を職員と一緒に選ぶ機会を提供する ・お出かけや季節にあった遊びで、自然現象や季節の移り変わりを感じられる活動の提供 ・見通しをもって楽しく参加できるよう、朝の会、帰りの会を同じ流れで実施 ・一日の流れ、あそびの流れやルールを視覚から理解できるように活動内容を掲示 ・全身を使った活動から自発的な動きを促す ・社会ルールを知る活動を定期的に取り入れる（挨拶、交通安全、災害対策など） 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・主に職員とのやり取りで身振り手振りや表情で「伝える」「伝わる」の経験を積む ・発達段階に合わせわかりやすい言葉で話しかけたり、遊びの中で絵やカードを使って物の名前を伝えたりすることで、言葉の理解を促す ・個々に応じて、絵カードを利用し欲しいものややりたいことを伝えるようなやり取りの工夫 ・活動で日常的に各種スイッチを取り入れ、代替的コミュニケーション手段の活用拡大を促す 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとの継続的な関わりにより、信頼関係を維持し安心感を得る ・お友だちの行動を見本にする機会が持てるよう、年長の児と一緒にできる活動の工夫 ・ルールのある遊びやゲームなど、小集団での活動を通して他児者と関わり社会性を育む 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流の場を設ける ・日常生活において不足している支援がないか確認し必要があれば情報の提供を行う 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに合わせた支援 ・高校2、3年生には卒業後の生活にむけ個別に自立支援を実施
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室や関わる各サービスとの連携 ・法人内の他事業所との交流 ・地域連携会議への参加 	職員の質の向上	法人内研修・外部研修への参加
主な行事等	季節の行事 進級・進学おめでとう会、桜を見る会、なつまつり、ハロウィン、クリスマス、年末もちつき・大掃除 地域行事への参加 新琴似神社お祭りへのお出かけ、よさこいソーランまつり新琴似会場での観覧、法人行事への参加		